

進学率向上ワーキング

◎概要

☆高大接続の実質化による中等教育支援と高等教育機関進学推進

(1) 進学率向上に向けた取り組み

- ・ 県内高校生の大学進学率の今後長期にわたって低迷するとの予測
⇒ 大学に進学する意義や魅力を就職を含めた高大社のトランジションとして、中学生を含めた生徒、保護者層を含めて正しく伝える。特に女子生徒に対する動機付け。

◆女子中高生の進路選択支援プログラムの実施

(理系、資格等の分野や学校種を念頭に実施)

- ・ 大分大学のリケジョプログラムをベースに再検討。
- ・ 県内連携に絞って、中高大社の連携。
⇒ 他大学が教育プログラムを理解、自前開講ができるようにする。

◆社会へのトランジションを踏まえた高校生のキャリア教育支援（体験学習の提供を含む）

- ・ 上記の中で今後検討。

◎2019年度取り組み

- 2019年9月 ワーキング設置承認
- 2019年9月～2020年1月 事前協議
- 2019年2月 ワーキング開始

◎2020年度取り組み

- 2020年4月 コロナによる実施中断（情報収集）

◎2021年度取り組み

- 2021年8月 第1回ワーキング開催。今年度の方針の決定。
- 2021年10月20日 日本文理大学附属高等学校において、特別授業－女子中高生の理系進路選択支援プログラム「ダイバーシティを知ろう！・リケイを知ろう！」を3大学合同で実施。1・2年生普通科特進コース生徒31名が参加。

◎参画機関（2021年度現在）

- 別府溝部学園短期大学（座長）、大分大学、日本文理大学、大分県教育委員会

◎目標指標（2022年度）

- 中高生向け教育支援プログラムの開催実績：15回/年

以上